

## 第14回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和2年3月19日（木）9:00～

場所：401 会議室

### 【協議事項】

#### 1. イベント中止・公共施設閉館の見通しについて

副市長：本日、専門家会議の見解を受け政府の方針が発表予定。

感染拡大・感染未確認の分けにより、地域によって判断していくと思われる。

原則、国の方針に則っていく。緩和の方向であれば、市としても、順次再開に向けて進めていく。ただし、前提として、換気・密度・密閉のクラスター条件が揃わないことを遵守すること。利用者記名や、相互接触、体調不良の方は利用不可などの条件付き。

閉館継続の想定は、温泉や文化会館などクラスター発生の危険性がある施設屋外は基本的にあけるが、付随する更衣室はあけない。

観光施設についても、お客の質が違うため、少し様子を見たいが、開ける際には、サーモグラフィや検温などの対策を講じる必要がある。

経済部長：観光施設ということで、モンキーパーク、リトルワールド、明治村については、明日から開園する。お菓子の城は3/31まで閉館。

市長：名鉄三園などはどういう備えをして再開するのかは、確認してほしい。

健康福祉部長：イベントについては、内容で主催者判断としてよいか。調理実習関係には、不可としたいが、複数施設にある調理実習室の利用を統一していきたい。

副市長：統一が妥当。イベントは、内容により判断していくしかない。原則、クラスター防止3条件を遵守できる場合のみ、施設をお貸しするというスタンス。市主催のイベントについても、同様。

事務局：扶桑・大口・小牧・江南に確認した。小牧のみ3/23までの閉鎖。他については犬山市と同様、国の方針を受けて判断するとのこと。

経済環境部長：学校は4/1まで休業か。

副市長：学校については、来週中に文科省が方針を示すので、その発表を受け、教育委員会で協議してほしい。

教育部長：3/23に臨時の校長会を予定している。

副市長：イベントや学校、公共施設の周知については、可能な限り同じタイミングで行ってきたい。施設再開にあたっては、消毒等の対応が必要となる。消毒液の状況は。

健康福祉部長：1か月分の量は確保している。必要があれば配布可能。今も追加発注中

教育部長：学校開放にあたっては、大量に消毒液が必要となる。対応可能か。

健康福祉部長：こまめな手洗いうがいなど。可能な範囲で対応していくしかない。

市長：学校の開放とは、一般に使わせるということか。どのタイミングか。3月中は体育館を使わせる。4月以降の話であればよい。

副市長：4月以降についても、屋内施設を開けないのであれば、学校も整合が必要ではないか。また、市民に、開ける理由もきちんと伝える必要がある。市民の社会活動とのバランスで、対策できるものについては開放していく方向だと考えている。

子育て監：4月以降の利用料については、まず4/30までを減免の対応と考えている。

市長：利用を控えたいという方には、対応する必要がある。説明方法は気を付けること。

大阪は少しずつ自粛を解除している。理由を調べておくように。

副市長：再開の際には、予約者が殺到する可能性が高いので対応を検討しておくこと。

イベント開催の判断もしっかり行うように。再開した自治体も確認すること。

市長：指示事項を伝える。

- ・市民対応について、これまで市民に不便をかけている。問い合わせはたらいまわしにしないこと。受けた人間が対応すること。丁寧な対応に心がける。
- ・施設やイベントの再開について、行政としての体制を整えていくこと。また、それを見える化し、市民に安心してもらおう対応をすること。学校についても、再開にあたり、どういう対策が必要で、どのような形で保護者に伝えていくのかを校長会で議論してほしい。それに連動して、施設の開放にあたっては、受付や施設管理者に徹底するよう。市民に伝わらないのは伝えていないのと同じである。
- ・公表のタイミングについて、月曜に本部会議で方針を決めていくが、公表するタイミングも状況を見極めていく必要がある。
- ・感染者が出た際のフローを準備・共有すること。消防の観点からも、どうやって搬送するのかなど問題はでてくる。明確なフローを作成し、市民に対しても見える化すること。感染者の受け皿状況を市民にタイムリーに見せること。犬山市独自の情報発信をすること。
- ・国が様々な方針を出す、上からの情報は直接聞いて確認すること。情報もこまめにキャッチすること。気になることがあれば、国に対してしっかり声を挙げる。国が発信している情報も、市として独自で情報発信する姿勢を持ってほしい。とにかく見える化。
- ・今後の国からの方針は、現金給付や減税などの話になってくると思う。市としても、事務的な準備が必要。不都合があれば、声を挙げる。

副市長：施設管理者へ状況をしっかり伝えること。施設、イベントの市民周知については、また諮る。経済対策についても、これから敏感にキャッチすること。

市長：経済の関連は、今後、市民も関わってくる状況になる。商工会議所にはこちらから寄り添って聞きに行くこと。市民から申し出を待つ姿勢ではなく、積極的に情報提供する姿勢を持つこと。

#### 【その他、感染対策の共有事項】

特になし